

平成18年度第7回 下山地域会議 会議録

【日 時】平成18年8月23日(水) 19:00~21:10

【場 所】下山支所2階会議室

【出席者】委員14名(欠席2名)

下山地区コミュニティ会議準備会 河合会長
事務局 支所長 副支所長 加藤 川合

【次第】1 開会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員指名

4 前回会議録の承認

5 報告

下山地区コミュニティ会議準備会より

6 ワークショップ

(1) 本日の進め方について

(2) ビジョン達成に向けた計画の概要見直し

(3) ビジョン達成、計画実施に向け体制づくり

7 閉会

【内 容】

1 会長あいさつ

2 会議録署名委員氏名

高橋委員を指名

3 前回会議録の承認

前は、ワークショップを主体に、ビジョン達成方法のアイデアと活用資源の抽出ということでワークショップを進めました。内容は、議事録を見ていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

(全委員承認)

4 報告

(事務局)今日は、コミュニティ会議準備会の会長さんにお越しいただいていますので、コミュニティ会議の内容・経緯等につきまして、報告いただきますのでよろしくお願いします。

(コミュニティ会議準備会会長)今までの経過を報告させていただきます。6月16日に第1回の会議を開きまして、7月・8月と3回の会議を開きました。その中で、会則とか構成等の内容について決定させていただきました。8月7日の下山地区区長会に諮りまして、ご承認をいただきまして、今日の地域会議の報告となりました。この後、8月28日に、関係団体の方にご説明申し上げ、ご了解を得ていく考えであります。ご了解がいただければ、逐次、準備会の会合を持ちまして、10月21日に決定していません設立総会に向けて、会議を進めていきたいと思っております。何分、始めてのことでありまして、我々も取り組み方に不安があります。今年度は、設立を大目

標にし、来年度にフルに活用できるような、組織づくりをしていきたいと思っておりますので、ご了解いただきたいと思っております。

(事務局) 今年度は途中からということでありますので、本格的な活動は来年度からになると思っておりますが、成人式についてはコミュニティ会議で実施していただく考えであります。予算につきましては、市からの委託金でまかなっていくことにしています。

5 ワークショップ

(ファシリテーター) 先回を振り返りますと、「高齢者が楽しく生き活きと働いている」、「女性がもっと働きやすい地域」、「若者が参画でき、リーダーが輩出できる新しい組織づくり」という3つのテーマがあり、どのように進めていけばいいのかという計画を考えていただき、大体の方向性はでたかと思っております。地域会議は、これを誰がやるのか、いつやるのかという、推進体制を考えるのが、地域会議の役割であると思っております。先回お休みになった方もみえますので、グループに分かれていただき、もう少し話を深めていただきたいと思っております。

(グループにて検討・発表)

(ファシリテーター) 皆さんが発表しましたキーワードを書かせていただきましたので、キーワードを発表させていただきます。

若者が参画でき、リーダーが輩出できる新しい組織づくり

- ・ 組織化が大切
- ・ コミュニティ会議の企画部会に期待
- ・ 学童保育ができる体制を

女性がもっと働きやすい暮らしやすい地域

- ・ まずは、女性(当事者)のニーズを知る
- ・ アンケートの実施し、具体的な対策を検討する
- ・ 学童保育を実施し、PRをする
- ・ 負担にならない程度の若い女性の有志の会をつくる

高齢者が楽しく生き活きと働いている

- ・ 現場の課題等を把握するためにヒアリングする
- ・ ルールや仕組みづくりをする
- ・ アイデアを生かした魅力的なビジネスづくり
- ・ 新商品の開発

(ファシリテーター) 今発表いただいたことを実行いただくと、皆さんのプロジェクトが成功すると思っております。実施するにあたり、共通に行ったほうが有効であるということもあると思っておりますので、気がついたことがありましたら発言をお願いします。

(委員) 情報収集と分析ということで、どの地域にどれだけ対象となる高齢者がいるのかとか、女性がいるのかとか、組織化するために若者がどれだけいるのかという情報収集と分析を行えばいいかと思っております。

(委員) 都会の高齢者の方が、田舎に来てどんなことをしたいのか。

(委員) 保育園・幼稚園の時間外に、どれだけ子供を見て欲しい人がいるのか。職場の要望・ニーズはどうであるのか。

(委員) 皆さんが持ってみえる意見をどのように吸い上げるかだと思います。そして、アンケートを行うにしても、そのアンケートを誰が行うかということでもあります。

(ファシリテーター) 出た意見について深めておきたいと思います。アンケートを行うにあたり、コストをあまりかけずに行う方法はありませんか。

(委員) 地域会議は、下部組織がありませんので、自治区を通して行うしかないと思います。

(ファシリテーター) 地域会議として、どの団体とどのように連携していったらいいかということのアイデアは出せるかということであると思います。それを、グループ内で話し合ってくださいと思います。

(グループ内で検討)

(ファシリテーター) 話し合った内容を発表していただきたいと思います。

(委員) ・地域会議の意見を反映するルールづくりをしないと地域会議の存在意義がなくなる

- ・ 地域会議で決まったことは、コミュニティ会議に伝えていく
- ・ 地域会議は、地域全体を見渡した考え方で意見をまとめ、コミュニティ会議に伝たりコミュニティ会議から帰ってきた意見はこちらで検討してまた返すような仕組みをつくる

(委員) 現実的に学童保育だけを考えれば、下山地区の学校や保育園の保護者が集まる会で、アンケートを実施する。

(委員) 自治区・地域会議・コミュニティ会議のそれぞれの役割を明確にしないと、3つの組織があっても無駄になってしまう。自治区は、7つの自治区の大字区を取りまとめであり、地域会議は、プランナーとしての機能を行い、コミュニティ会議が実戦部隊になると思います。

(ファシリテーター) 一番大きな壁であると思います。この壁を乗り越えるために全力を掛けるべきであると思います。地域会議とコミュニティ会議が課題解決にあたるとしたら、どのように体系を作るかだと思います。地域会議が実りのあるものとなり、今までの活動が報われるようにするために絶対乗り越えなければならない壁であります。次回は、糸口をつかみ可能性を見出して実施する話し合いをしたいと思います。

(事務局) 次回は、9月27日水曜日に行いたいと思いますのでよろしくをお願いします。